

●韓国

マクロ経済動向

韓国銀行(中央銀行)が4月25日に公表した2019年第1四半期の成長率(速報値)は、季節調整値で前期比▲0.3%で、5四半期ぶりにマイナスを記録した。需要項目別に見ると、内需では、最終消費支出は同0.2%で前期の同1.5%から大きく低下した。固定資本形成は同▲2.8%で2四半期ぶりにマイナスとなった。その内訳では、建設投資は同▲0.1%で前期の同1.2%からマイナスに

転じた。設備投資も同様にマイナスに転じ、同▲10.8%と大きく減少した。外需である財・サービスの輸出は同▲2.6%で、前期の同▲1.5%に続いてマイナスを記録した。一方で、財・サービスの輸入も同▲3.3でマイナスとなっている。

2019年第1四半期の鉱工業生産指数伸び率は季節調整値で前期比▲3.0%となり、前期の同▲1.5%からマイナス幅が拡大した。月次では季節調整値で、2019年2月に前月比▲3.4%、2月に同1.5%となっている。

2019年第1四半期の失業率は季節調整

値で3.9%であった。月次では2019年2月に3.7%、2月は3.8%となっている。

2019年2月の貿易収支(IMF方式)は58億ドルの黒字であった。

2019年第1四半期の対ドル為替レートは1ドル=1126ウォン、月次では2019年2月に同1124ウォン、3月に同1132ウォン、4月に同1143ウォンと推移している。

2019年第1四半期の消費者物価上昇率は前年同期比0.5%であった。月次では2019年2月に前年同月比0.5%、3月に同0.4%、4月に同0.6%と推移している。2019年

第1四半期の生産者物価上昇率は前年同期比0.0%であった。月次では2019年2月に前年同月比▲0.2%、3月に同0.1%であった。

2019年および2020年の経済展望

韓国銀行は4月18日に経済見通しを発表した。2019年の成長率を2.5%とし、前回(1月)の見通しから0.1ポイント引き下げた。これはまた2018年の実績2.7%を下回る値である。また2020年の成長率は2.6%としている。2019年の成長率については、年前半が前年同期比2.3%、年後半が同2.7%としている。

2019年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.5%で2018年実績の2.8%を下回る。設備投資は0.4%で

2018年実績の▲1.6%からプラスに転ずる。建設投資は▲3.2%で、2018年実績の▲4.0%からマイナス幅が縮小する。外需である輸出は2.7%で、2018年実績の4.0%から低下するとしている。

2019年の失業率については3.8%で、2018年の3.8%から横ばいとしている。雇用者数の増加は14万人で、2018年の10万人から拡大すると見込んでいる。2020年については、失業率は3.7%、雇用者数の増加は17万人としている。

一方、2019年の消費者物価上昇率は1.1%で、2018年の1.5%から低下すると予測している。2020年については1.6%としている。

文在寅政権の景気対策

第1四半期のマイナス成長によって、政権発足以来、最低賃金の引き上げなど、所得分配の公平化を通じて経済成長を図ってきた文政権の経済政策は困難な局面を迎えつつある。

4月25日に、韓国政府は関係閣僚を招集して対策を協議した。洪楠基副首相兼企画財政相は、企業に対する規制緩和によって投資を促す政策を指示した。また同日、政府は総額6兆3000億円の補正予算を国会に提出し、この内の4兆5000億ウォンを景気対策に充てるとした。

ERINA 調査研究部主任研究員
中島朋義

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	18年 4-6月	7-9月	10-12月	19年 1-3月	19年2月	3月	4月
実質国内総生産(%)	3.3	2.6	2.8	3.1	2.7	0.6	0.6	1.0	▲ 0.3	-	-	-
最終消費支出(%)	2.0	2.4	2.9	2.8	3.5	0.3	0.7	1.5	0.2	-	-	-
固定資本形成(%)	3.1	3.8	5.2	8.6	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 4.6	1.9	▲ 2.8	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	0.2	▲ 0.6	3.0	2.4	1.3	2.7	0.8	▲ 1.5	▲ 3.0	▲ 3.4	1.5	-
失業率(%)	3.5	3.6	3.7	3.7	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	3.7	3.8	-
貿易収支(百万USDドル)	88,885	122,269	118,895	113,593	111,867	29,947	34,718	24,670	-	5,479	-	-
輸出(百万USDドル)	613,021	542,881	511,947	580,310	625,437	157,666	158,974	158,693	-	40,133	-	-
輸入(百万USDドル)	524,135	420,612	393,052	466,717	513,571	127,719	124,256	134,023	-	34,654	-	-
為替レート(ウォン/USDドル)	1,053	1,132	1,160	1,130	1,101	1,080	1,122	1,128	1,126	1,124	1,132	1,143
生産者物価(%)	▲ 0.5	▲ 4.0	▲ 1.8	3.5	2.0	2.2	2.9	1.5	0.0	▲ 0.2	0.1	-
消費者物価(%)	1.3	0.7	1.0	1.9	1.5	1.5	1.6	1.8	0.5	0.5	0.4	0.6
株価指数(1980.1.4:100)	1,916	1,961	2,026	2,467	2,041	2,326	2,343	2,041	2,141	2,195	2,141	2,204

(注)国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価は2010年基準、消費者物価は2015年基準
貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格
(出所)韓国銀行、統計庁他